

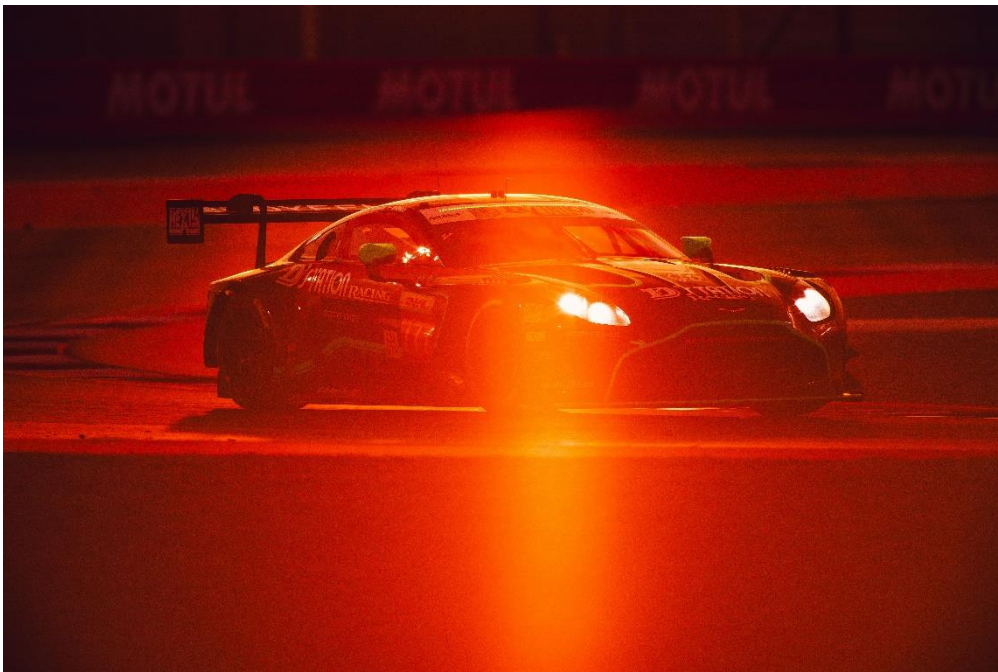
報道関係各位



アストンマーティン ジャパン

## アストンマーティン Vantage GT3、 好調な世界選手権初挑戦の総仕上げに臨む

- 新型アストンマーティン Vantage GT3、バーレーンで 2024 年 FIA 世界耐久選手権 2 つ目の優勝を狙う
- 新型 Vantage GT3、世界選手権デビューシーズンで目覚ましい成果
- D'station Racing は再び表彰台を獲得して WEC シーズンを終えることを目指す
- Heart of Racing は LMGT3 クラス 2 位を追う



2024 年 10 月 29 日、サヒール（バーレーン）：

FIA 世界耐久選手権（WEC）が 11 月 2 日（土）にバーレーン 8 時間レースでフィナーレを迎える中、新型アストンマーティン Vantage GT3 も、大きな成功を収めたデビューシーズンの最終戦に臨みます。

アストンマーティンの新しい GT3 チャレンジャーは、今年初めにシルバーストンで初公開された新型ロードカーの Vantage から多くを受け継ぎ、実績ある接着アルミシャシーを中心に組み立てられ、強力な 4.0 リッター V8 ツインターボエンジンを動力源としています。9 月にサーキット・オブ・ジ・アメリカズ（COTA）で開催されたロンスター・ル・マンで Heart of

Racing が優勝し、既に WEC 今シーズン初勝利を挙げています。これに加え、2024 年シーズンは Heart of Racing と D'station Racing で合わせて 4 回の表彰台を獲得しています。

Heart of Racing は母国開催の COTA にて快走を見せ、ポールから第 6 戦の先頭に立ち、途中 LMGT3 クラス最速ラップを記録しながら WEC 初優勝を果たしました。先月、前回ラウンドが開催された日本の富士スピードウェイでも再びポイントを獲得したチーム代表兼ドライバーのイアン・ジェームス（英国）、アレックス・リベラス（スペイン）、ダニエル・マンチネリ（イタリア）は、FIA 耐久トロフィーの LMGT3 ドライバー部門とチーム部門の 2 位を十分に狙える位置にあります。2 位との差は 7 ポイントですが、バーレーンでは最大 39 ポイントの獲得が可能です。

目標達成となれば、今月ロード・アトランタで IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権 GTD Pro クラスのドライバーおよびチームの両部門 2 位を既に獲得している米国の Heart of Racing は、新型 Vantage GT3 との好調なシーズンを順調に締めくくることになります。アストンマーティンのワークスドライバーであるロス・ガン（英国）は、初の IMSA フルシーズン出場での優勝をわずか 5 ポイントで逃しながらも、優勝 1 回と最終戦プチ・ル・マンの 3 位を含む 4 回の表彰台獲得を達成しました。新型 Vantage によって、アストンマーティンは米最高峰の耐久シリーズである IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権にてマニファクチャラー部門の 2 位も獲得しています。

D'station Racing も、日本の SUPER GT シリーズの GT300 クラスで 6 月に鈴鹿にてアストンマーティン初優勝を収め、今もタイトル争いを展開するなど、母国レースにおいて Vantage GT3 で大きな成功を収めています。

元 WEC レーサーの星野敏（日本）がチームオーナーで、SUPER GT シリーズのクラス優勝経験者である藤井誠暢（日本）がマネージャーを務める D'station Racing は、昨年同じバーレーンのレースで記録したクラス 2 位という WEC 最高成績のさらに上を狙い、バーレーンに臨みます。

D'station Racing のドライバーの 1 人はアストンマーティンで最も多くの勝利を経験しているワークスドライバーのマルコ・ソーレンセン（デンマーク）。FIA WEC の GT クラスで 3 度チャンピオンに輝き、ロレックス 24 時間レースとル・マン 24 時間レースでもクラス優勝を収め、さらに先日のスパ 24 時間レースで同じくワークスドライバーのニッキ・ティーム（デンマーク）、マッティア・ドゥルディ（イタリア）と共に優勝も果たしています。777 号車 Vantage でソーレンセンと組むのは、フランスおよびヨーロッパ GT4 のタイトル獲得者エルワン・バスタード（フランス）です。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは、次のように述べています。「2024 年にこの後どのような展開が待っていると、新型 Vantage GT3 の初めてのシーズンは好調であったと行うことができると思います。COTA では Heart of Racing が華々

しい勝利を挙げると同時に、彼らと D'station Racing の両方がこれまで表彰台を獲得してきていることは、アストンマーティンが WEC においてプロ・アマチュア両方のドライバーにとって競争力のある GT カーであることを証明しています。世界各地の選手権で競う Vantage は、ヨーロッパのファナテック GT ワールドチャレンジや日本の SUPER GT シリーズなど、今もタイトル争いを続けています。世界選手権デビューの年にして 2 位争いに絡んでいる Vantage は、2 年目は現行のチームにとっても、今後パートナーとなるチームにとっても優れた選択肢となるでしょう。」

バーレーンにおけるアストンマーティンの実績には素晴らしいものがあります。2012 年の第 1 回大会ではダレン・ターナー（英国）とシュテファン・ミュッケ（ドイツ）が Vantage でポールポジションを獲得し、2 位でフィニッシュしました。以来、過去の 3 つのコンフィギュレーション（Vantage V8、V8 Vantage GTE、Vantage GTE）のそれぞれで GT クラス優勝を果たし、クラス優勝の数は合計で 7 つ、表彰台獲得も 15 回に上ります。D'station Racing は昨年、チームの WEC 最高成績（LMGTE クラス 2 位）を達成し、Heart of Racing は 3 位で WEC 初の表彰台を獲得しました。

バーレーン 8 時間レースの公式練習は 10 月 31 日（木）の現地時間 12:15（グリニッジ標準時 09:15）、レースは 11 月 2 日（土）の現地時間 14:00（グリニッジ標準時 11:00）に開始されます。詳細は各シリーズの公式ウェブサイトと公式アプリでご確認ください。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-ujKLewvDif>

## アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって 1913 年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上の国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda  
Marketing & Communications Manager-Japan

松永 悠理

[yuri.matsunaga@astonmartin.com](mailto:yuri.matsunaga@astonmartin.com)

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

[astonmartin-pr@pjbc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pjbc.co.jp)